

ようこそ！つしま Life！

魅力いっぱい！対馬の絶景スポット



漁火公園（厳原町）

海を見渡せる高台に位置し、漁火と天の川を同時に撮影することができます。また、夜明け前になると朝焼けと天の川の組み合わせが撮影できる絶好の場所です。



舟志のもみじ街道（上対馬町）

山道を抜けると、鮮やかに色付いた葉が目に飛び込んできます。対馬の秋を代表する風景です。



赤島大橋（美津島町）

エメラルドグリーンの海にかかる真っ赤な橋は存在感抜群。潮だまりに写る姿も美しいです。



内山峠（厳原町）

朝日、夕日、星空全てを楽しむことができます。おすすめは春先、眼下の内山地区の水田に水が張られ、夕日が反射して美しく光ります。



千俵蔭山（上県町）

山頂の巨大な風車は迫力満点。山頂まで車で行け、夕日に映える岩やススキが美しい場所です。

対馬は、車を少し走らせれば、素晴らしい自然写真を撮影することができます。また、歴史的に価値がある場所が多く、被写体が豊富です。

まだまだ知られていない場所が多いので、道に迷いながら、日々新たなスポットを見つけて、地元対馬の魅力を発信していきたいと思います！

（撮影者）しるさき しょうき 城崎 祥熙さん

高校卒業後カメラに興味を持ち、独学で技術を学ぶ。現在は風景写真とポートレートを中心に撮影を行っていて、SNSで国内外のカメラ愛好家と関わりをもち、対馬を世界中に発信しようと、島内のカメラ仲間と奮闘中。



日本最北西端、国境に浮かぶ島

対馬は、南北約82km、東西約18km、面積は約707km²あり、全国の離島では佐渡島、奄美大島について日本で3番目に大きい島です。島の中央部にある浅茅湾に代表される入り組んだ海岸線と、島の89%を占める山林が特徴の山の島です。福岡の博多港から対馬南部の厳原港まで、海路で約130km、対馬北部から韓国釜山までは直線距離で49.5kmという国境の島でもあります。

大陸と日本本土の間に位置する対馬は、古来から懸け橋としての役割を担ってきました。国の天然記念物であるツシマヤマネコをはじめ、対馬でしか見ることのできない動植物や、大陸系の動植物が多く生息しています。また、人々が海を往来する際の中継地点であることから、古代から近代まで、様々な遺構や記録、交易品などが残っています。

対馬市は、2004年に6つの町（南から厳原、美津島、豊玉、峰、上県、上対馬）が合併して誕生しました。市章は合併した6つの町を表していて、現在でも対馬市〇〇町という形で、旧町の名前が残っています。

市章



対馬市の頭文字「つ」を6つ使い、合併した6町を表しています。また、対馬の歴史と未来への発展をつなぐ時間の流れを表したものです。



歴史に触れる、自然や国際交流を感じるイベント

対馬市では、市民ランナーがアップダウンの激しいコースを走る「国境マラソンIN対馬」や、江戸時代に日本と朝鮮の友好の証として、対馬藩が間を取り持ち行われていた「朝鮮通信使行列」の再現など、各地で対馬の歴史や文化、自然を感じることができる催しが行われています。



対馬の天候

対馬の平均気温を、長崎市や福岡市と比べてみると、1~2度ほど低くなっています。夏は、海風により地表に熱が籠らないので、比較的涼しく感じます。冬は、北西からの季節風が強く吹くため肌寒く冷え込みが厳しくなりますが、雪が積もることはあまりありません。

対馬の冬は風を
しっかり防ぐ服装
をお勧めします。

夏は涼しく、
冬は寒いよ

寒波により水道管が
凍結することもある
ので、冬はご注意を!





韓国展望所からは釜山の街並みや夜景が見える
手前に見えるのは海栗島



日本の渚百選にも選ばれた
三宇田浜

対馬お役立ち MAP

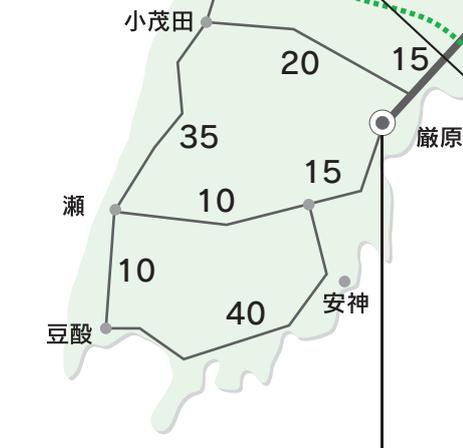


対馬の道路は南北を貫く国道382号線と、県市道が8の字を描くように走っています。ちなみに、南端の豆酸から北端の鰐浦まではおよそ100km。車でも3時間ほどかかります。カーブが多いので、運転にはお気を付けてください！

また、市内各所にツシマヤマネコ注意の道路標識が設置されています。夜間の運転は、野生生物にも要注意！



いづはらまち
巖原町



日本三大墓地のひとつ万松院



目保呂ダム馬事公園の乗馬体験



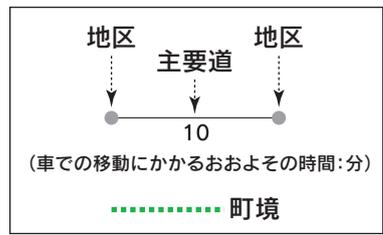
対馬国一ノ宮、海神社



浅茅湾を一望できる烏帽子岳



白嶽の頂上からの眺めは絶景

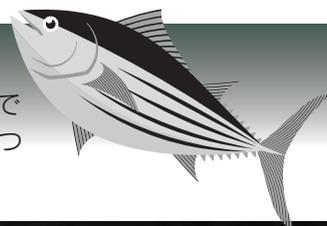


各地にある公園も魅力の一つ

市内各地には、地域の特色を生かした公園が多く存在します。自然を楽しんだり、アスレチックで身体を動かしたり、中には、日本在来馬の対州馬に乗ることができる公園も。魅力いっぱいの対馬ならではの楽しみを見つけてみてはいかがでしょうか？

対馬は食も個性的！

全国2位の水揚げ高を誇る長崎県の中で最も漁業が盛んな対馬は、周囲の海で獲れる豊かな海の幸はもちろん、対馬の自然が育む山の幸、特別な歴史を持つ食べ物など、食の個性も際立っています。



新鮮な海の幸を
島の石の上で焼く「石焼き」



肉厚で「森のアワビ」とも
称される原木シイタケ



そば本来の深い味わいを
堪能できる「対州そば」



サツマイモを原料にした
保存食「せん」から作る「ろくべえ」



あなごの概念を覆す、
対馬沖で水揚げされるあなご



対馬でとれる日本ミツバチの蜂蜜は
濃厚な甘さがクセになる

対馬での暮らしを早く楽しんでほしい

神奈川県出身で7年前、島おこし協働隊として対馬に移住した佐藤雄二さんは、任期後は、対馬をテーマにした旅行商品を企画する会社を起業し、対馬を全国に発信しています。佐藤さんが毎年この時期に取り組んでいるのが「対馬生活オリエンテーション」。転勤などで対馬にやってきた人たちに、対馬での暮らしや観光スポットなどを伝えています。



転入して感じる不便さを解消して、対馬での暮らしを早く楽しんでいただければと思って、オリエンテーションを行っています！



オリエンテーションは
Webでも発信中！

佐藤さんからのワンポイントアドバイス

引っ越しの時に見落としがちなのがごみの問題。私も引っ越しの際、指定のごみ袋で出さなかったり、間違った分別の仕方をしたりで回収されず、ごみとしばらく暮らした経験をしました。各市町村でごみ出しや分別のルールが違いますので「ごみ収集カレンダー」で収集日と対馬市の分別方法を確認しましょう。指定ごみ袋は、スーパーや地域の商店で販売しています。



対馬市からの情報発信はこちらをチェック！

対馬市では、広報つしまのほか、ホームページ・LINE・Facebook・Instagramで様々な情報を発信しています。また、対馬市CATVでも対馬市からのお知らせを放送しています。ホームページリニューアル情報を裏表紙に掲載していますので、ご覧ください。

